



大島事業所トピック

No. 345

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行

〒100-0212 東京都大島町波浮港 18

Tel 04992(4)0381 Fax 04992(4)0383

ホームページ <http://www.ifarc.metro.tokyo.jp>

平成25年8月8日

平成 25 年8～12月の伊豆諸島周辺海域の海況見通し

黒潮は、8月上旬に一時的に B 型、その後 C 型となる。

平成 25 年 7 月 30、31 日に神奈川県横浜市において漁海況予報会議が開催され、平成 25 年 8～12 月の海況予報が水産庁より発表されましたのでお知らせします。

海況の現況

2 月以降、黒潮は概ね N 型で推移しました。4 月下旬に小蛇行の東進に伴い B 型となり、5 月下旬には C 型となりました。その後は、C 型で推移しました。7 月末の時点では、C 型蛇行が東へ徐々に移動し、熊野灘沖に新たな蛇行が出来つつあります。そのため、黒潮は四国沖を東進し、遠州灘沖で北流した後、34° N 付近から八丈島、青ヶ島を迂回して、房総半島沖を大きく離岸して流れています。

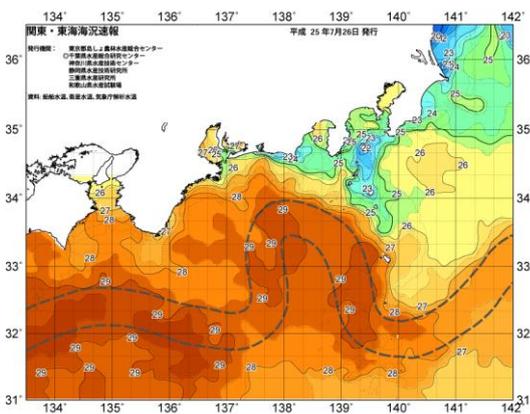


図 1 関東・東海海況速報

(平成 25 年 7 月 26 日)

海況予測 (平成 25 年 8～12 月)

現在、薩南海域の黒潮北縁は接岸傾向で推移し、都井岬～足摺岬では接岸、潮岬では大きく離岸しています。

黒潮は、8 月上旬に一時的に B 型となり、その後は C 型で推移する見込みです。12 月には再び

B 型となると予想されました。黒潮の変動に伴い、内側域への一時的な暖水波及も予想されます。

伊豆諸島北部海域の海況見通し

伊豆諸島北部海域は、概ね冷水域に入りますが、黒潮流路の変動に伴い、伊豆諸島北部海域への一時的な暖水波及が予想されます。今後の沿岸水温は、「平年並み」～「低め」で推移し、暖水波及時には「高め」となる模様です。

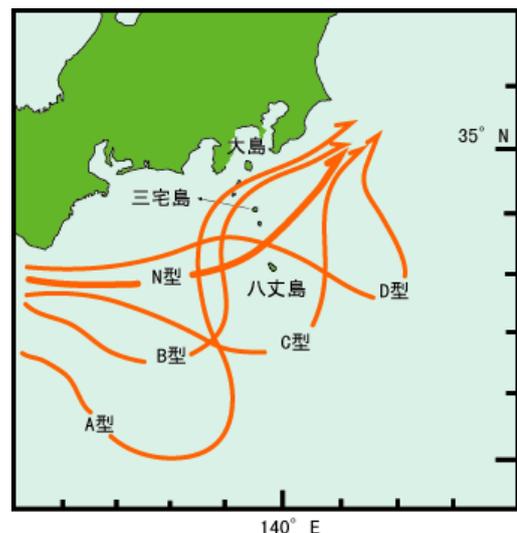


図 2 黒潮流路の代表的なパターン

A 型：遠州灘沖の冷水塊の規模が大きく、長期間継続

B 型：冷水塊が遠州灘沖に存在、A 型ほど大きくない

C 型：冷水塊は伊豆諸島の東西にまたがって存在

D 型：冷水塊が伊豆諸島の東側に存在

N 型：本州に平行に直進

(注：海上保安庁海洋情報部HPより転載)